



# 研究者紹介 私の研究

陸上植物研究グループ  
あきやま し の ぶ  
植物研究部 秋山 忍 研究主幹

『世界の屋根と呼ばれる  
ヒマラヤ山脈そこは植物の宝庫』



ヒマラヤから中国にかけての中国-ヒマラヤ地域には多くの植物種が分布しています。この中国-ヒマラヤ地域にユキノシタ属(ユキノシタ科)植物が何種分布しているのか、どのような形態をしているのか、またそれらの種の系統関係を調べています。



ネパールの高山(標高約4000m)に生育するユキノシタ属植物。黄色の花の種が多い。



白色の花の種もある。



ユキノシタ属植物は、道なき急峻な高山に種が多い。

## | 研究員に聞いてみました！

### 1) 専門は何ですか？

ヒマラヤや東アジアで著しい多様性を示す被子植物の特徴と分類について研究しています。

### 2) 研究者になろうと思ったきっかけは何ですか？

大学生になって、身近な山野にも、なぜこんなにも違ういろいろな植物があるのかに興味をもったのがきっかけでした。

### 3) 最近の研究活動で、最も興味深かった出来事は何ですか？

ヒマラヤの国、ネパールからはこれまでに80種ものユキノシタ属植物が発見されているのに、新たに調査を行うごとに未知の種が見つかるのには、とても驚きます。

### 4) 研究者になりたい方に一言アドバイスを！

よい研究をしても、それを第三者に伝えることができなければ、よい研究者にはなれません。科学の世界の共通語である英語での口頭発表や論文発表ができるよう、情報発信のための技術をみがいてください。

